

# 携帯電話とプライバシーの安全対策

## 米国への渡航時のデータ保護と安全対策

米国へ渡航する際は、携帯電話やその他の電子デバイスのプライバシーを保護するのが重要です。米国税関・国境警備局（CBP）は、国境や空港で旅行者の電子デバイスを令状なしで検査することができます。

米国へ向かう旅行者から、CBPに電子デバイスへのアクセスが要求されたという報告が増加しており、検査の結果によっては入国を拒否されるケースもあります。

入国が拒否された場合、旅行者は強制送還を待つ間、拘留される可能性もあります。

現在の状況では、コミュニティの皆様には米国への渡航を控えるようお勧めしております。

どうしても渡米が必要な場合は、国境を越える際に移民弁護士やその他の緊急連絡先の電話番号を手元に用意し、あるいは暗記しておくことをお勧めしております。

個人情報を守るためにできることはいくつかあります：

### 1. CBPの権限を理解する

CBPは、許可を得ることなくあなたの電子デバイスを検査することができ、そしてさらに詳しい検査のためにデバイスを押収することも可能です。また、パスワードやPINも聞かされることもあるかもしれません。

### 2. 渡米前の準備

データのバックアップ：旅立つ前に、重要なファイルや写真をクラウドサービスや外付けドライブに保存しておきましょう。

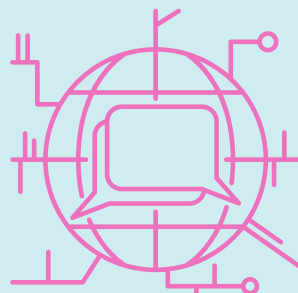
機密情報の削除：書類、メッセージ、写真などのプライベートや機密情報をデバイスから削除してください。

▶SWANの連絡先情報を一時的に削除しておくことをお勧めしております。

一時的なデバイスを使用：機密データが入っていない古いデバイスや低価格のデバイスを一時的に使用することもお勧めしております。

### 3. デバイスのロックと保護

強力なパスワードを使用：指紋認証や顔認証だけでなく、強力なパスワードを設定することもお勧めしております。CBPは生体認証によるデバイスのロック解除を強制することはできますが、パスワードやパスコードの入力は強制できません。



# 携帯電話とプライバシーの安全対策

## 米国への渡航時のデータ保護と安全対策

暗号化を有効にする: スマートフォンやパソコンが暗号化されていることをご確認してください。暗号化によりデータが保護され、デバイスが検索された場合でも、データへのアクセスが難しくなります。

---

### 4. クラウドストレージを無効にする

クラウドサービスをオフに: 国境を越える前に、メールやクラウドストレージ（Google Drive、iCloudなど）のアカウントからログアウトしてください。

Wi-FiとBluetoothをオフに: 国境や空港に近づいたら、データが遠隔からアクセスされるのを防ぐため、Wi-FiとBluetoothをオフにしてください。

---



### 5. CBPに検査される場合

CBPが携帯電話やノートパソコンの検査を行うことになった場合、そのデバイスにあるファイル、アプリ、メッセージなどを確認することがあります。また、データをコピーしたりダウンロードしたりすることもあります。端末が差し押さえられた場合、調査期間中、数週間ほど保管される可能性があります。

---

### 6. 一時的なデータ消去

プライバシーについてとても心配の場合、渡米前にデバイスごでデータを全部消去することを検討してもよいでしょう。ただし、端末のデータを全部消去する行為は不審に思われ、かえって厳重なチェックを受ける原因になる可能性もあるため、注意が必要になります。

---

### 7. SNSの使用

キャッシュをクリアする: FacebookやInstagramなどのアプリには個人情報保存されている可能性があるため、旅行前にアプリのキャッシュを削除してください。

投稿を控える: 国境を越えるまでは、ソーシャルメディアに個人的な情報を投稿しないでください。米国税関・国境警備局（CBP）は、検査の一環としてソーシャルメディアを確認する場合があります。

▶米国の入国管理当局はソーシャルメディアのアカウントを確認し、反ユダヤ主義的または反トランプ政権とみなされる内容を投稿している人物に対してはビザの発給を拒否します。

---

ご質問やご不明な点がございましたら、  
お気軽にお問い合わせください。

お問合せ番号: 778-865-6343（英語） / 236-877-1617（日本語）  
LINE: @swanvancouver